

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	地域で子育てを考えよう連絡会（ちいくれん）
-----	-----------------------

取組の名称	野外保育を楽しもう		
実施場所	川崎市夢パーク、他各自主保育グループの活動地域の公園		
対象地域	幸区（まんまる）、高津区（ぼけっと）、宮前区（B.B だん、いちにんさん）、麻生区（こめっこ）		
対象地域の特色・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立の幼稚園が無く、子育て世代の出費が多いため、共働きが多い</li> <li>・多摩川や生田緑地など、自然に恵まれ、また保全活動が盛んな公園が多い。</li> <li>・転入、転出が多く、母親が孤立しがちである。</li> </ul>		
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑豊かな場所が多いことを活かし、親子で遊んだり、のんびりと過ごすことを提案すること。</li> <li>・保育園や幼稚園に預けるのも良いが、我が子の「育ち」を親が当番をしつつ見守る『自主保育』の認知度を向上し、会員を増やすことに繋げること。</li> </ul>		
実施内容・実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～5月は緊急事態宣言発令のため、活動を中止。</li> <li>・6月以降、月に一度スタッフミーティングと定例会を実施。夢パークにて色水遊び、草木染め、絵本交換会を行い、一般参加の親子と遊んだり、情報提供を実施。秋以降は運動会、生田緑地の探索、麻生区横山の歩き活動など月に二回は感染対策をしつつちいくれんとして活動を続けた。</li> </ul>		
参加者の年代	0歳から40代	定員 (1回あたり)	親子20組
実施頻度	月2回	活動日数 (年間)	22日

<p>スタッフ体制</p>	<p>代表・広報・会計は年度ごとに決める。 その他の会員もスタッフミーティングへの参加やイベントの都度企画や準備に関わり、お互いに助け合いながら運営している。</p>
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>(団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市夢パーク</li> <li>・黒川野外活動センター</li> <li>・各区の子ども文化センター</li> </ul> <p>(手法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ紹介やイベント案内のチラシを置いてもらう</li> <li>・必要な時は場所や物品を借用する</li> </ul>
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>2020年春から、思いがけず新型コロナウイルスの感染対策のため、休校中の小学生、幼稚園がいる家庭は屋外で過ごす方法を模索していた。そのような一般の親子へ積極的にイベントへの参加を促し、参加者同士が自粛中のストレスや子どもとの生活について話し合ったり、不安定な生活への心配事を吐き出す場所になったのではと思う。会員の増加につながれば一番良いが、『親と子がのびのび育つ』ことが大前提であり、コロナ禍により一段と会のモットーを強く意識した年であった。</p>